

JREL 情報

仙台地本

J R 東労働組合仙台地方本部情報

2020年4月8日

発行責任者 武田 浩之

編集責任者 情 宣 部

No.041

川名さんに対する不当出向を許さない！ 4.5 不当な出向弾劾集会



4月5日、福島市にて「川名さんに対する不当な出向を許さない！4.5不当な出向弾劾集会」を開催しました。

齋藤副委員長は、①川名と共にひがし労は断固闘う。②低額妥結の根拠、春闘の敗北を総括し組織強化拡大を目指す。③新型コロナウイルスに対して、職場討議資料に基づき4つの運動を全組合員で取り組み、組合員と家族を守っていく。と挨拶しました。



こんなことがまかり通ってはいけません！職場から許さない闘いを！

菊池業務担当部長は、経過報告で「簡易苦情処理これまで5件も出ている。異常だ。会社の狙いがある。会社が嫌がるのは、職場の声としてこういう事実が明らかにされること。職場でしっかり事実を話していこう」と提起しました。

川名さんからは、「このように希望もしていないのに裏でやられるような事がまかり通れば「ジョブローテーション」などあらゆる施策も不安になる」「どの系統でも出向に対する不安が広がってしまう」「理不尽な会社を許さず仲間と共に闘っていく」決意が述べられました。



フリートークでは「川名は職場で影響力があるので狙い撃ちした」「**事象にすぐに反応して動くことに意味がある**」「職場で『これ仙台支社のことですか？』と聴かれた」「**自分の不当転勤のとき闘えたのは仲間がいたから**」「ジョブローテーションでも起こりうるのか。今闘わなければ！」「不当転勤には簡易苦情処理申請と、集会で共に**闘う意志を明らかにしなければ仲間を守れない！**」「会社の好き勝手にさせない」「このような転勤は技術力の低下を招く」「**新型コロナなど世の中を見ても会社はこの様な事をやっている場合なのか**」「ELの人間を飛ばすための動きなのでは？」「会社への不満や不安を聴くELが拡大することが会社は嫌なのでは？」など出されました。会社の狙いを断固許さず職場から闘い抜くことを全体で意志統一しました。

最後に「みんなは1人のために。1人では弱いから結集して立ち向かおう」「おかしいことにはおかしいと言うのが労働組合。仲間が困っていたら集まる。みんなでもコロナ対策もしっかり取り組む」「組織率で会社は判断してくる。自信を持ってひがし労に結集させよう！」「問題が起きた時、すぐ行動して闘いを創り出すことができたのが今回の教訓。系統を越えて一つになって闘っていこう！」と黒羽書記長がまとめ、齋藤副委員長の団結ガンバローで終了しました。



ひがし労はこれからも仲間と共に闘います！